eastspring investments

交付運用報告書

イーストスプリング・フィリピン株式オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間 2026年３月10日～2026年９月７日

第28期 2026年９月７日決算

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

日経新聞掲載名：フィリピン株

第28期末（2026年９月７日）	
基準価額	8,012円
純資産総額	819百万円
第28期	
騰落率	△ 13.6%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
〒100-6905
東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
https://www.eastspring.co.jp/
〔お問い合わせ先〕
電話番号：03-5224-3400
（受付時間は営業日の午前９時から午後５時まで）

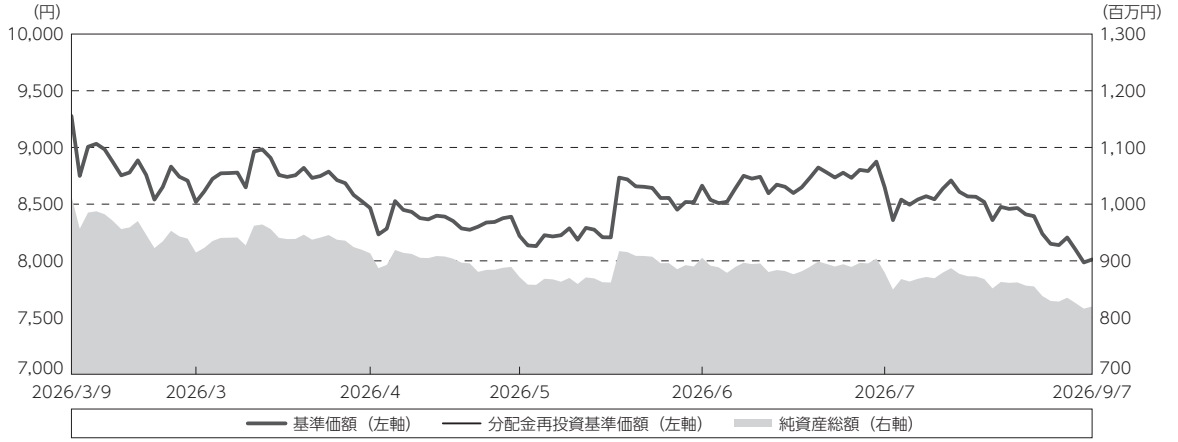
当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書（全体版）」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2026年3月10日～2026年9月7日)



期　首：　9,278円
期　末：　8,012円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：△ 13.6%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2026年3月9日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)
・通貨フィリピンペソが対円で下落したこと。
・保有する銘柄の株価が下落したこと。

１万口当たりの費用明細

（2026年3月10日～2026年9月7日）

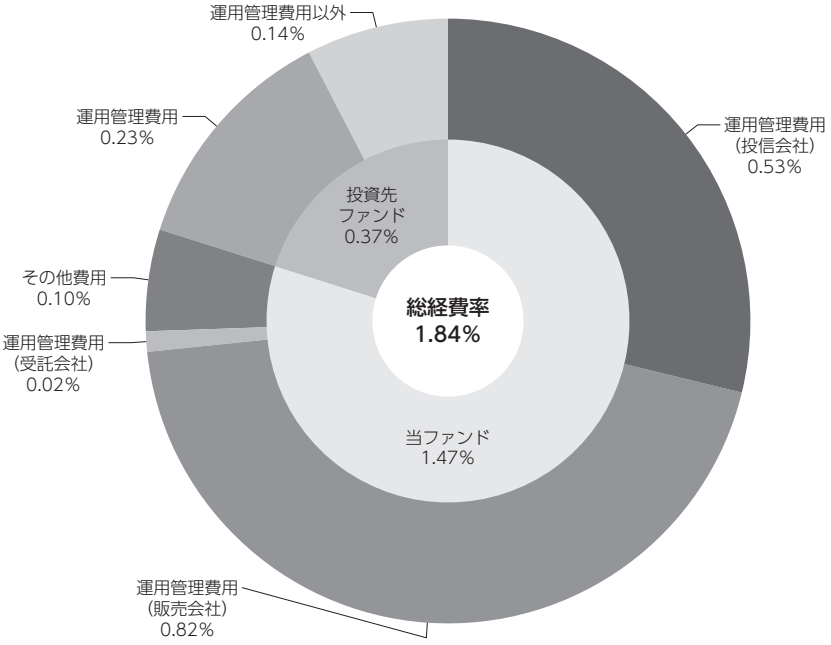
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	58	0.686	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(22)	(0.263)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(35)	(0.411)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.052	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.025)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(2)	(0.025)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他１）	(0)	(0.001)	信託管理事務に係る手数料
合計	62	0.738	
期中の平均基準価額は、8,444円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84％です。



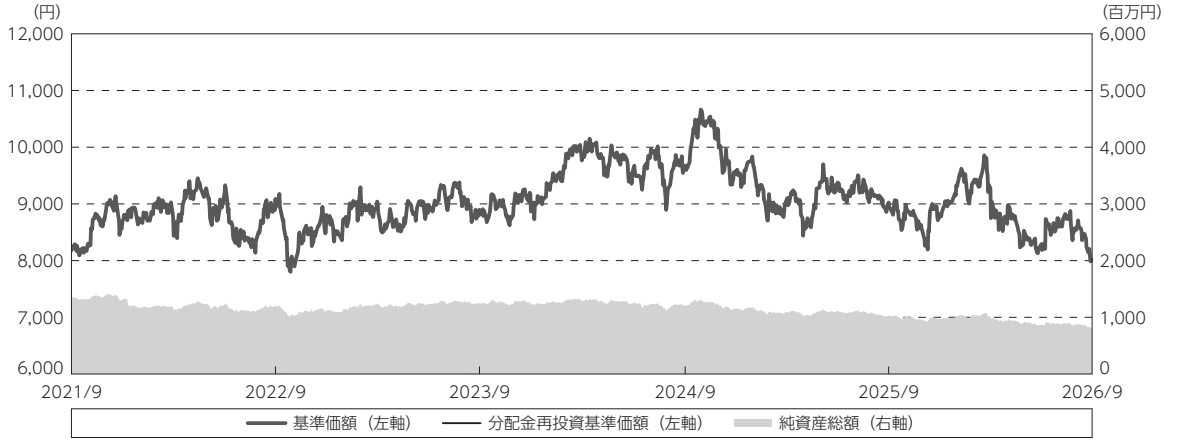
（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**1.84**
①当ファンドの費用の比率	1.47
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14

（注）①の費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。
（注）①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移について

(2021年9月7日～2026年9月7日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、2021年９月７日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年９月７日 決算日	2022年９月７日 決算日	2023年９月７日 決算日	2024年９月９日 決算日	2025年９月８日 決算日	2026年９月７日 決算日
基準価額 (円)	8,177	9,089	8,896	9,674	9,024	8,012
期間分配金合計(税込み) (円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	－	11.2	△ 2.1	8.7	△ 6.7	△ 11.2
純資産総額 (百万円)	1,339	1,214	1,255	1,212	1,029	819

(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は下落しました。米・イスラエルによるイラン攻撃を受けて原油価格が高騰し、インフレ加速懸念などが嫌気され、期初から下落しました。その後、フィリピン政府が高騰する原油価格や汚職取り締まりの影響を理由に、2026年のGDP成長率見通しを下方修正したことなどにより、株価は上値の重い展開が続きました。2026年６月には米・イランの停戦合意発表を受けて原油価格が下落したこと、５月の消費者物価指数（CPI）の前年同月比上昇率が市場予想を下回ったことで利上げ観測が後退したことなどが好感され、株価は大きく反発しました。しかし、フィリピン中央銀行（BSP）が原油価格高騰やエルニーニョ現象による農産物価格への影響を理由に、2026年および2027年ともにインフレ率が目標レンジを上回るとの見通しを示したことから、利上げ観測が再び台頭しました。期中にBSPが３会合連続で利上げを発表したことから今後の経済活動減速懸念が意識され、８月に株価は下落しました。

為替市場

フィリピンペソは、中東情勢悪化に伴う原油価格高騰によるインフレ加速懸念や、中東情勢の悪化が国際収支と財政へのリスクを高めるとの理由から格付け会社が格付け見通しを引き下げたことなどを受け、期初から対米ドルは下落基調で推移しました。貿易赤字の拡大、資本流出、エネルギー輸入コストの高騰など懸念材料が残るなか、2026年８月には中東情勢懸念の再燃を受けてペソは対米ドルで下落基調を強めました。円は、日米通貨当局による協調介入やその後の介入警戒感などから対米ドルで上昇しました。通期ではフィリピンペソは円に対して下落しました。

国内債券市場

国内債券市場は、高市政権による積極財政を背景とした財政赤字拡大懸念や、中東情勢の混乱を受けた原油価格高騰などによるインフレ懸念などから、利回りは上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・フィリピン・エクイティ・ファンド クラスＪ（以下「フィリピン・エクイティ」という場合があります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は海外の港湾設備買収や既存の港湾設備の運営契約更新、アジア・米国間のコンテナ輸送費用が中東情勢の緊迫化を理由に大きく上昇したことなどが好感され株価が上昇した港湾運営企業（INTERNATIONAL CONTAINER TERMINAL SERVICES, INC.）な

どの保有がプラス要因となる一方、停滞するフィリピン国内の経済活動を背景とした住宅販売や個人消費の減速懸念などから、株価が下落した大手コングロマリット（SM INVESTMENTS CORP）などの保有がマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（１－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第28期 2026年３月10日～ 2026年９月７日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,960

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
（注）－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

フィリピン・エクイティ

エネルギー価格および商品価格の上昇に加え、金融政策の引き締めなどを背景に、今後の経済成長鈍化が懸念されます。今後、経済成長見通しの下方修正の可能性に加えて、インフレ高止まりのリスクや企業の投資マインドへの悪影響にも注意が必要です。

当該ファンドは、すでにそのような慎重な見通しを反映したポートフォリオとしていますが、景気減

速などのマイナス材料を織り込み、魅力的なバリュエーションとなった優良企業にも投資機会を見出しています。

当面は中東情勢の先行き不透明感や、エネルギー価格の上昇およびインフレ高止まりによるフィリピン経済の減速リスクを踏まえ、守りを意識したポートフォリオを構築し、生活必需品や高配当銘柄、特に通信や水道・電力関連株を選好する一方、景気および金利に敏感な銘柄、特に一般消費財や銀行、不動産株については弱気なスタンスで臨みます。今後も投資環境の変化に対する市場の反応に留意しつつ、下落局面では、株価が割安な水準となったファンダメンタルズの強固な優良銘柄に選別投資を行います。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2012年９月28日設定）
運用方針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスＪ」の投資証券（米ドル建て）および日本の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年３月７日および９月７日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

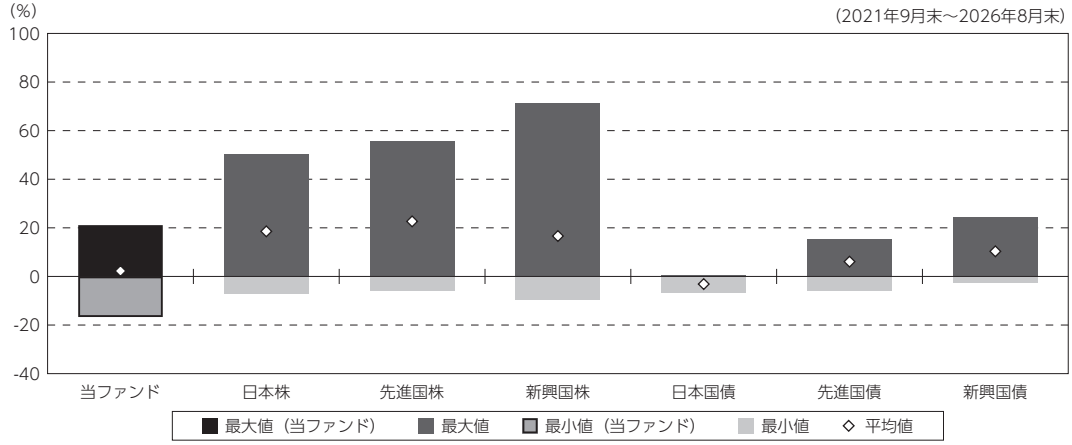
指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）」のベンチマーク（ICE BofA 国債インデックス（１－10年債））について

ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.1	50.5	55.7	71.2	0.4	15.4	24.5
最小値	△ 16.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	2.2	18.6	22.7	16.6	△ 3.1	6.1	10.3

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2021年９月から2026年８月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：配当込みTOPIX
先進国株：MSCI － KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

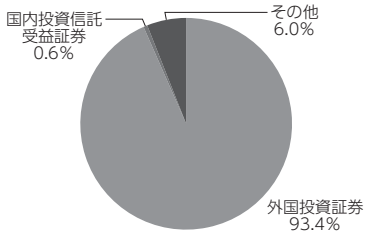
当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

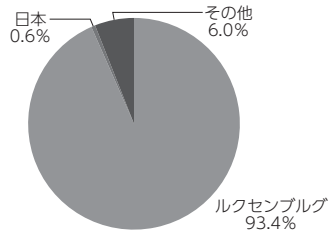
銘柄名	第28期末
	%
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	93.4
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)	0.6
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

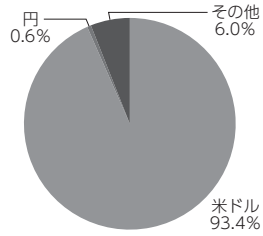
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

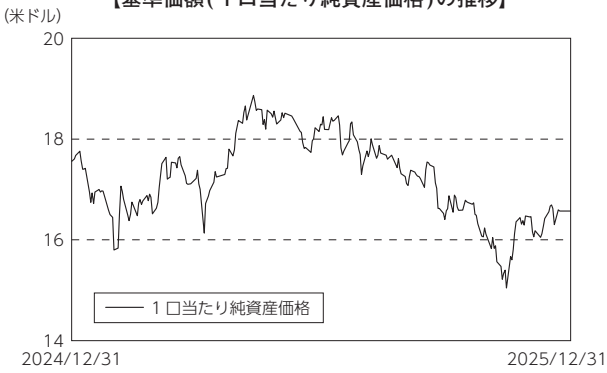
項目	第28期末
	2026年９月７日
純資産総額	819,528,714円
受益権総口数	1,022,878,641口
１万口当たり基準価額	8,012円

(注) 当期中における追加設定元本額は53,887,409円、同解約元本額は124,209,730円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ

【基準価額(１口当たり純資産価格)の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2025年1月1日～2025年12月31日)

当該期間のAnnual Report（監査済み）には、１万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

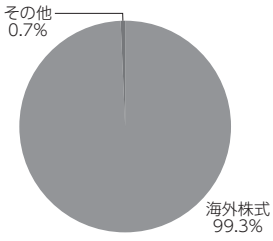
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

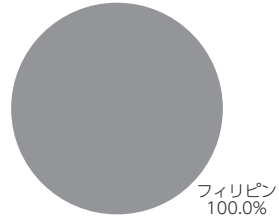
(2025年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	SMインベストメンツ	資本財	フィリピン	9.9%
2	バンコ・デ・オロ・ユニバンク	銀行	フィリピン	9.9%
3	インターナショナル・コンテナ・ターミナル・サービス	運輸	フィリピン	9.7%
4	フィリピン・アイランズ銀行	銀行	フィリピン	9.6%
5	メトロポリタン銀行	銀行	フィリピン	5.0%
6	ジョリビー・フード	消費者サービス	フィリピン	4.8%
7	SMプライム	不動産管理・開発	フィリピン	4.7%
8	マニラ電力	公益事業	フィリピン	4.7%
9	アヤラ・ランド	不動産管理・開発	フィリピン	4.3%
10	ユニバーサルロビナ	食品・飲料・タバコ	フィリピン	3.7%
組入銘柄数		29銘柄		

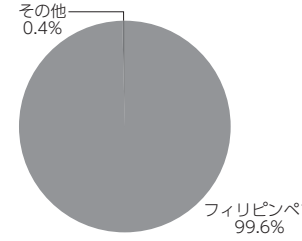
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

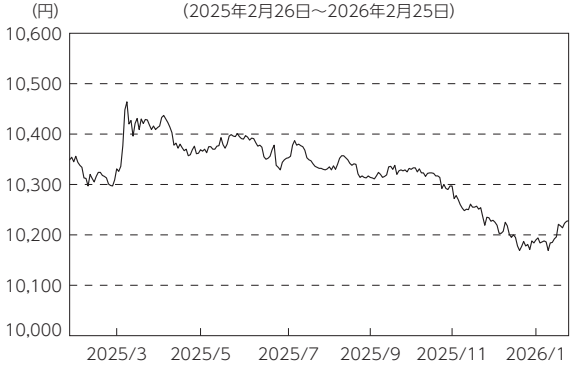


(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。
(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2025年２月26日～2026年２月25日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 信託報酬	23	0.220
(投信会社)	(15)	(0.143)
(販売会社)	(2)	(0.022)
(受託会社)	(6)	(0.055)
(b) その他費用	1	0.013
(監査費用)	(1)	(0.013)
合計	24	0.233
期中の平均基準価額は、10,325円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

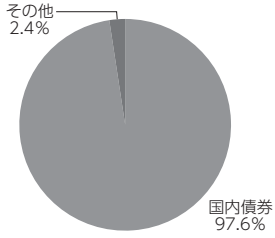
【組入上位10銘柄】

(2026年２月25日現在)

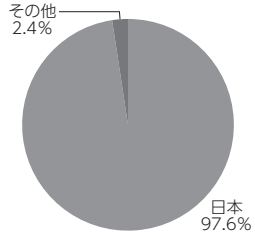
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	第359回利付国債(10年)	国債	円	日本	21.8
2	第91回利付国債(20年)	国債	円	日本	18.0
3	第117回利付国債(20年)	国債	円	日本	13.5
4	第14回利付国債(30年)	国債	円	日本	9.1
5	第351回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.8
6	第354回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.5
7	第87回利付国債(20年)	国債	円	日本	7.3
8	第378回利付国債(10年)	国債	円	日本	6.9
9	第13回利付国債(30年)	国債	円	日本	5.6
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		９銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

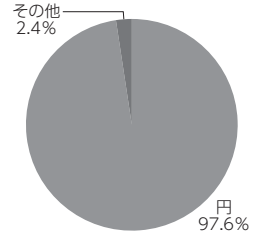
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。